

2025 年上期会員企業実態調査 調査報告

文責 事務局 政策渉外部担当 小池一貴

調査の目的

会員企業実態調査は、会員の中小企業・小規模企業の経営の現場や実態を把握し、当会の活動に反映する。会内外に中小企業小規模企業の経営の実態を発信し、行政・報道機関・金融機関等・支援機関等・他の中小企業団体等との関係構築を図る。

調査概要

【回答期間】2025 年 4 月 1 日から 5 月 2 日まで

【回答方法】インターネットによる自動集計

【回答数】212 件

※うち個人事業(フリーランス・個人事業者)は 39 件、法人事業者は 175 件)

回答者の概要

	総数に対する割合
建設業	7.51%
製造業	19.08%
情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	17.92%
運輸業・郵便業(倉庫等)	0.58%
卸売業・小売業	8.09%
金融業・保険業	3.47%
不動産業・物品賃貸業	4.62%
学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	21.97%
宿泊業・飲食サービス業	1.73%
生活関連サービス業・娯楽業(洗濯/理美容/旅行/冠婚葬祭等)	1.16%
教育・学習支援業	1.73%
医療・福祉	6.94%
サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	5.20%
総計	100.00%

従業員数 [正社員]	なし	1~9 名	10~29 名	30~99 名	100 名超	総計
総数に値する割合	20.19%	35.58%	27.88%	12.98%	3.37%	100.00%

従業員数 [非正規社員]	なし	1~9 名	10~29 名	30~99 名	100 名超	総計
総数に値する割合	31.28%	51.40%	7.26%	7.82%	2.23%	100.00%

各設問への回答について

Q. 前年度(2024年4月～2025年3月)の業況は、その前の年度(2023年4月～2024年3月)と比較してどうでしたか。売上高・利益(経常利益)の状況を教えてください。

	総数に対する割合
01)売上増収・利益増益	34.76%
02)売上増収・利益横ばい	12.86%
03)売上増収・利益減益	8.57%
04)売上横ばい・利益増益	3.33%
05)売上横ばい・利益横ばい	15.71%
06)売上横ばい・利益減益	3.33%
07)売上減収・利益増益	0.95%
08)売上減収・利益横ばい	1.90%
09)売上減収・利益減益	15.71%
10)回答できない	2.86%
総計	100.00%

「増収増益」との回答が最多(34.76%)。次いで「売上・利益横ばい」、「減収減益」が続く(各15.71%)。

自由記入回答で得られた増益理由としては、多い順に売上増加29件、コスト削減7件、業務効率化5件、その他6件、減益理由としては、こちらも多い順に、売上減少14件、コスト増加14件、業務効率悪化4件となっています。そのほか外部環境の変化によるものとして、業界の再編、市場の構造的な変化、為替レートの変動などが挙げられました。

Q.今年度(2025年4月～2026年3月)の業況の見通しは、どのように推移すると考えていますか。

	総数に対する割合
01)大きく増加する	11.00%
02)やや増加する	47.85%
03)横這い	22.01%
04)やや減少する	10.05%
05)大きく減少する	4.78%
06)わからない	4.31%
総計	100.00%

業況見通しについて、「やや増加する」との回答が最多(47.85%)。次いで「横ばい」(22.01%)。「やや減少する」(10.05%)「大きく減少する」(4.78%)となっています。

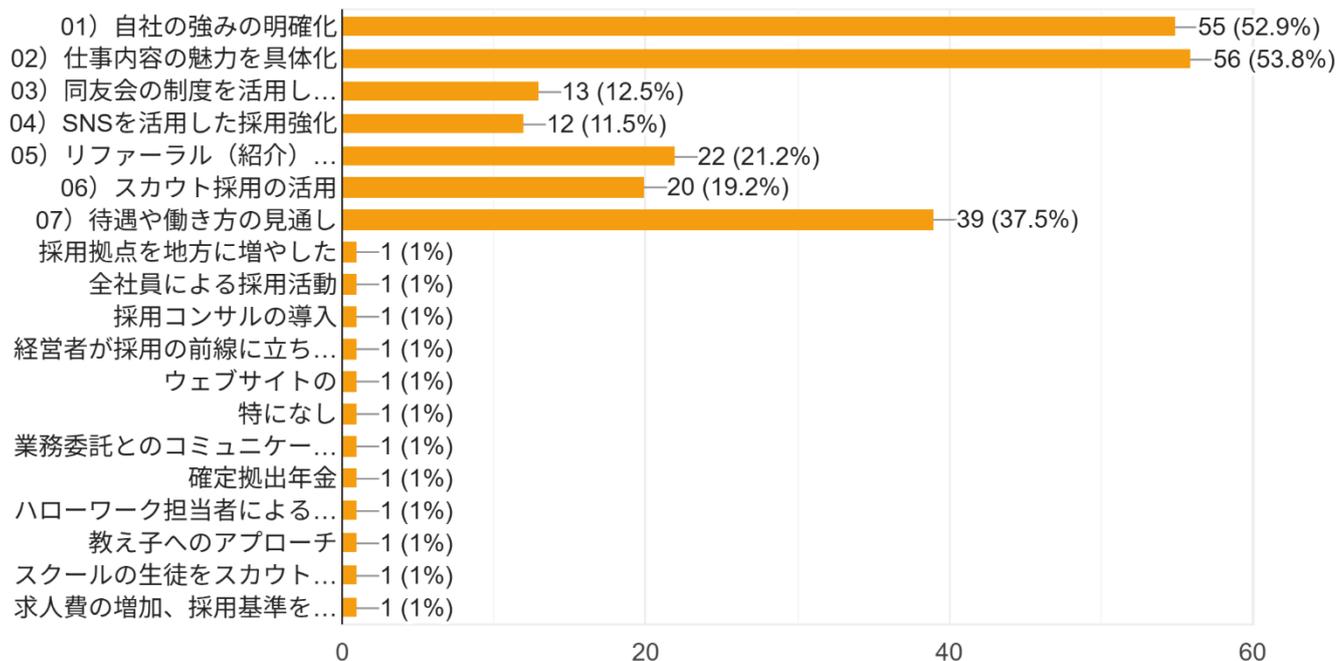
Q.前年度(2024年4月～2025年3月)の人材確保について伺います。人材募集で採用はできましたか。

	総数に対する割合
01)募集はしなかった	33.72%
02)募集をして、計画通り採用できた	29.65%
03)募集をして、計画未達ではあるが採用ができた	28.49%
04)募集をしたが、全く採用できなかった	6.40%

その他 (リファーマル採用、パートタイマーのみ採用できた、業務委託から雇用へ切替)	1.74%
総計	100.00%

Q.人材募集をして、採用ができた方に伺います。採用活動で取り入れて効果があつた対策について、当てはまるもの全てに回答ください。[複数選択]

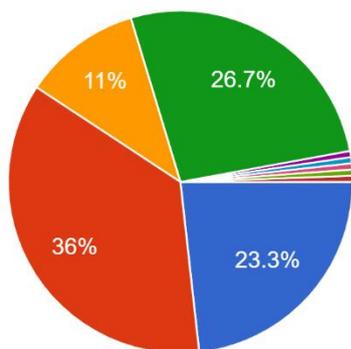
104件の回答



「仕事内容の魅力を具体化」(53.8%)「自社の強みの明確化」(52.9%)次いで「待遇や働き方の見通し」(37.5%)と、採用後の生活や働きに関する解像度を上げる取り組みに注力が集まりました。リファーマル採用(紹介採用)やスカウト採用も増えています。「同友会の制度を活用した採用強化」(12.5%)は共同求人活動を通じた大学等との関係構築、採用課題を持ち寄った情報交換の場、事業協同組合が取り組む確定拠出年金への加入などが含まれています。

Q. 政府は 2030 年までに最低賃金を全国平均 1500 円へ引き上げる目標を掲げています。5 年以内に時給 1500 円へ引き上げることは可能ですか。

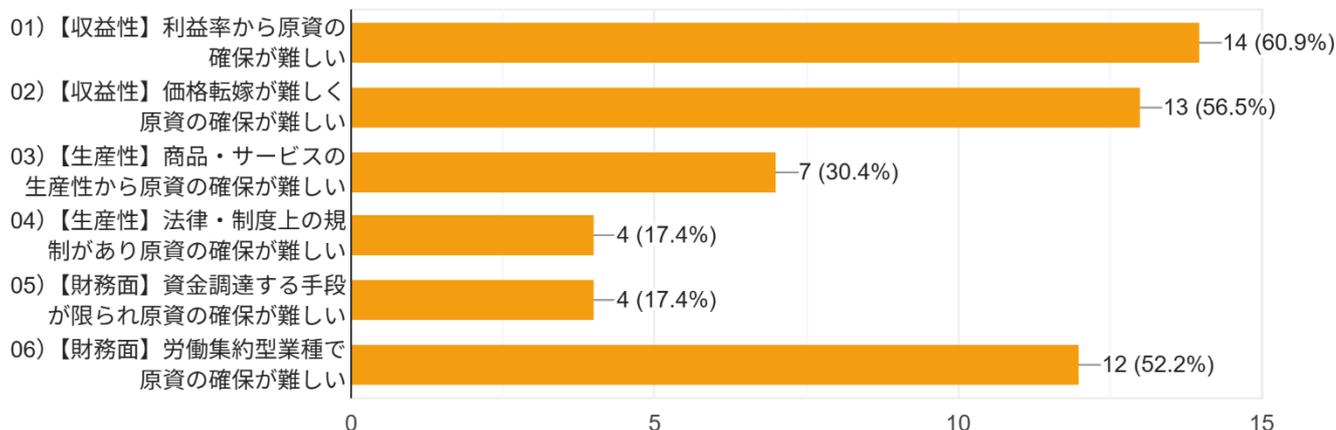
172 件の回答



- 01) 既に時給1500円以上で達成
- 02) 可能
- 03) 不可能
- 04) わからない
- 雇用していません
- やらないわけにはいかないで、やるが、経営への影響は心配
- 公的事業が多いので、自治体に価格転...
- 困難だが決まったら実施するしかない...
- 正規社員は問題なし。非正規60名で5...

Q.5 年以内に時給 1500 円の引き上げが不可能と回答された方に伺います。不可能と思う理由について当てはまるもの全てに回答ください。[複数選択]

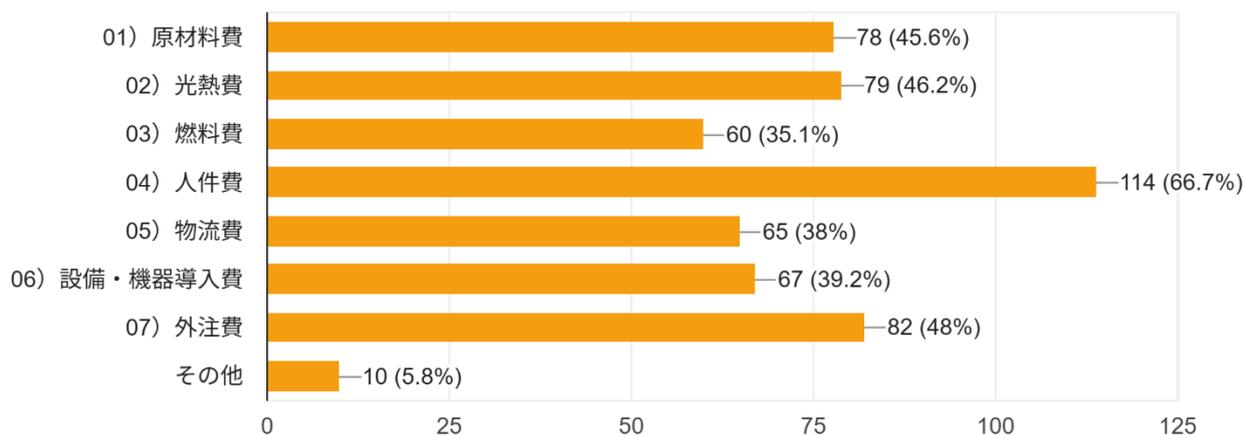
23 件の回答



最低賃金の大幅な引き上げについて、「すでに達成している」(23.3%)、「可能」(36%)と、現時点で対応可能な企業は 6 割程度にとどまっています。「不可能」と回答した 11%にその理由を尋ねたところ、利益率の低さが最多 60.9%、価格転嫁交渉の難しさ 56.5%、労働集約型業種のため原資確保が難しい 52.2%となりました。

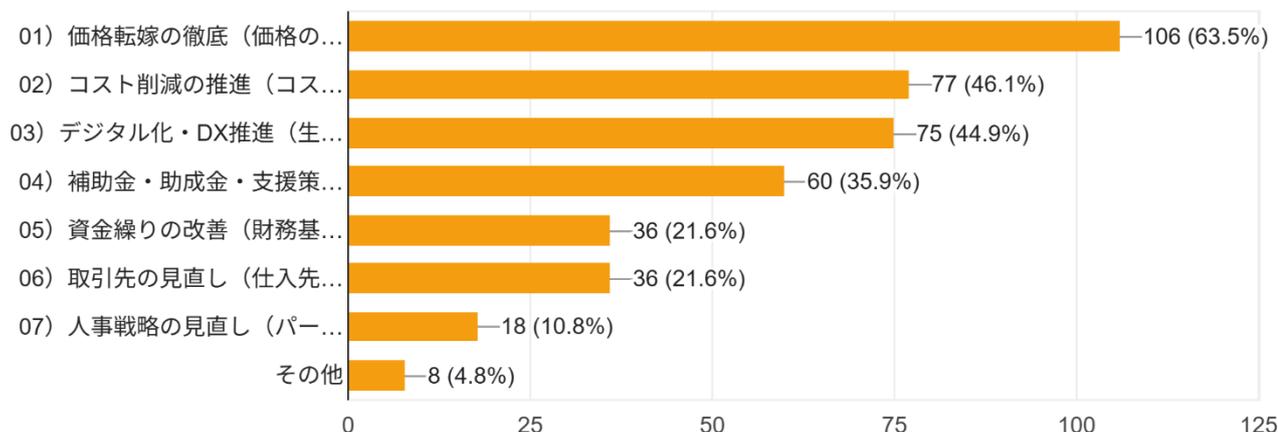
Q.物価上昇の影響を受けている項目を教えてください[複数選択]

171件の回答



Q. 物価上昇に対して何か対策を講じていますか。当てはまるもの全てに回答ください。[複数選択]

167件の回答

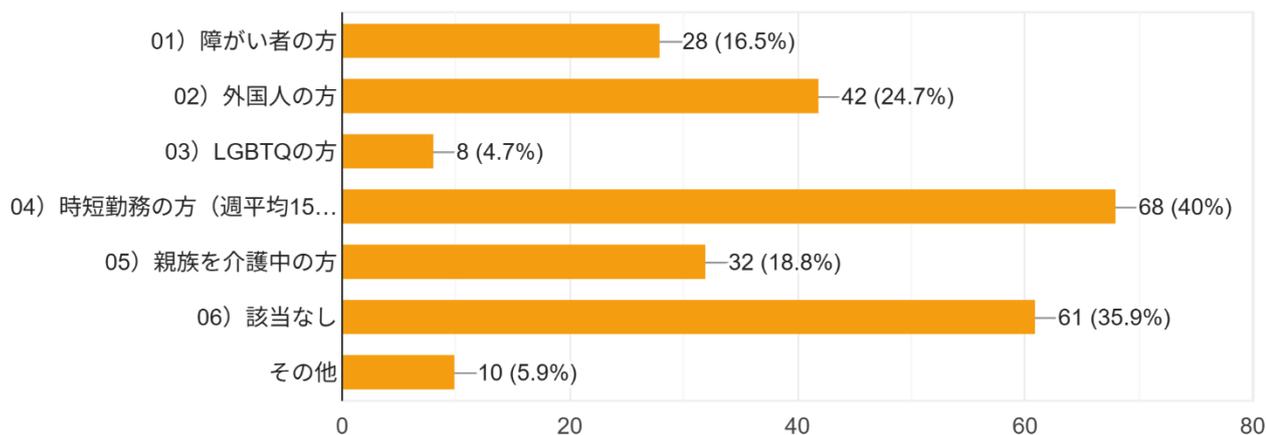


物価上昇の影響について、「人件費」との回答が最多 66.7%、次いで「外注費」(48%)、「原材料費」(45.6%)、「光熱費」(46.2%)となっている。その対策については、「価格転嫁の徹底」(63.5%)「コスト削減」(46.1%)、「デジタル化・DX 推進」(44.9%)、「補助金助成金の活用」(35.9%)となっています。

価格交渉の難しさについては、しばしば活動の中でも聞かれるところです。値決めを現場任せにしておくと、担当顧客を失いたくない社内からの反発や抵抗もあり、実現が困難との声も多方面から聞かれた。一方で、値決めは経営との観点から全社的な取り組みを行い粘り強く価格交渉を実施している企業や、既存顧客と新規顧客の価格差を設け、新規顧客獲得に注力してコスト増を乗り越える企業なども見られます。既存顧客との粘り強い交渉だけでなく、新たな顧客を創出し続けることが重要であり、物価上昇局面における中小企業各社の生き残りをかけた経営努力の基本的な方向であることがうかがえます。

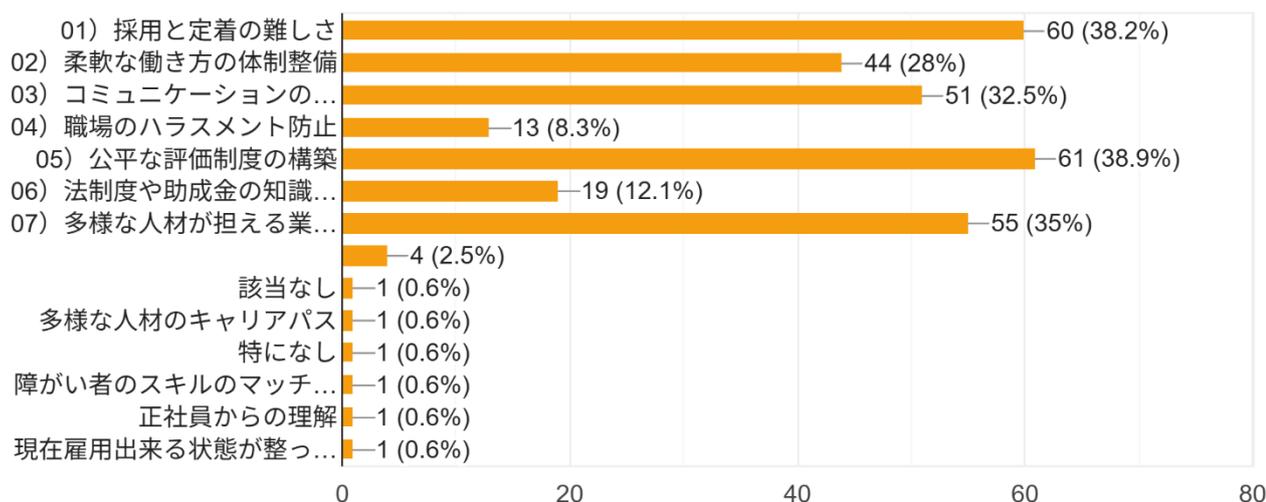
Q. 雇用の多様性について伺います。貴社にて雇用している方の全てに回答ください。[複数選択]

170 件の回答



Q. 雇用の多様化の取り組みで、既に取り組んでいる方、また取り組んでいない方いずれも「会社として課題や取り組んでいない理由」として感じていることはありますか。当てはまるもの全てに回答ください。[複数選択]

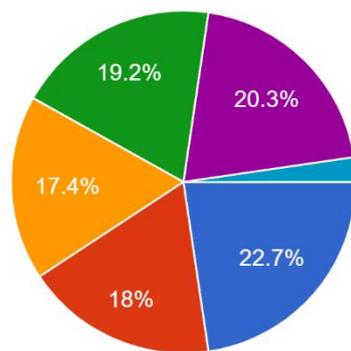
157 件の回答



雇用の多様性について、「正社員時短勤務」(40%)、「外国人」(24.7%)、「介護を抱えた方」(18.8%)、「障がい者」(16.5%)との回答であった。課題と感じる点について、「公平な評価制度の構築」(38.9%)、「採用と定着の難しさ」(38.2%)、「多様な人材が担える業務の切り出しができていない」(35%)となっています。今後ケアの問題はより加速していくことが想定され、中小企業においても雇用の継続に向けた取り組みが本格化していくことが予想されます。また、勤務形態についても、時短勤務や短時間雇用のほか、業務委託といった形態をとるなど、必ずしもゼネラリストの無期雇用にこだわらない組織デザインを志向する企業も生まれています。基礎自治体においても超短時間雇用モデルの社会実装が進んでおり、事業者の関心も高まっています。また、能力に対する考え方の変化にも注目が集まりつつあります。成果は個人に帰結するものではなく、人と人との間に作られるものとの考えから、個人の能力向上のみならず、組織内での組み合わせや配置転換などを試行錯誤していく中で組織全体での成果を生み出すとの観点は、多様な背景を抱える人材と価値を生み出していく組織には欠かせない考え方となっていく。このような意識も事業者の中に生まれつつあります。

Q. より稼げる企業体質を目指して、新たな商品・サービス・事業等へのチャレンジはされていますか。

172 件の回答



- 01) 既に新規事業を開始して、収益化している
- 02) 新規事業の導入に向けて、市場テストや実証実験を行っている
- 03) 新規事業を計画中で、具体的に準備を進めている
- 04) 新規事業のアイデア検討中で、まだ行動には移していない
- 05) 現状の事業に集中しており、新規...
- その他

新たなビジネスモデルの構築や新規事業の立ち上げについて、「既に事業化して収益化している」(22.7%)、「導入に向けて市場テストや実証実験を行っている」(18%)、「新規事業の計画中で具体的に準備を進めている」(17.4%)となっています。

中小企業を取り巻く環境の変化は速く、需要の変化に対応していくこと、また業界の外からやってくる競争を意識して新たな事業の柱を作り出していくことが重要です。その準備にあたっては、経営者のカンや経験、思い入れだけではなく市場規模や市場へのアクセスなどの分析は欠かせないものとなっています。中小企業家同友会では、全国的に経済産業省が進める RESAS 地域経済分析システムの活用による商圈分析や出店計画、販売戦略の検討に生かす動きが本格化しています。また、社内のリソースを使う以上、リーダーの思い入れだけでは社内の協力が得られないことも、事業計画上の位置づけを明らかにし、社内外の協力を取り付けることも重要であり、各社の経営指針が社内にどのように落とし込まれているか、各社の組織力が問われています。

自由記入回答から得られた会員の課題認識

不公平感と制度疲労: インボイス制度に関する BtoB/BtoC 間での不公平感や、大手企業の支払い条件に関する問題提起から、既存の制度や商慣行が中小企業にとって不利に働いている現状が浮き彫りになっています。制度設計への疑問: インボイス制度が、同じ規模・売上でも事業形態(BtoB/BtoC)によって負担に差が出るため、不公平感が強いという意見が出ています。

人手不足の深刻化: 飲食業や建設業における人手不足は喫緊の課題であり、特に若年層のなり手不足や、外国人材の活用における法規制の緩和が強く求められています。

経営の厳しさ: 売上確保の困難さ、製品値上げの難しさ、そしてそれらに伴う資金繰りの悪化は、多くの事業者に通ずる経営課題です。

飲食業界の課題

外国人材活用の喫緊性: 人手不足が極めて深刻であり、留学生やその他のビザを持つ外国人の労働時間制限の緩和・撤廃、さらに卒業後の就労を可能にするビザ関係の法改正が強く望まれています。

建設業界の課題

後継者不足の深刻化: 職人の高齢化と成り手不足が最大の問題であり、具体的な解決策はまだ見えていないものの、問題が山積している状況です。

製造業/サプライヤーの課題

価格転嫁の困難さ: 製品の値上げを進める中で、大手企業には受け入れられやすい一方、中小規模の取引先には理解を得るのが難しいケースが多く、資料提出などの対応に時間がかかり、結果的に利益が伴わないことも多いため、価格転嫁の厳しさを感じています。

中小企業の支払い条件問題

大手企業による一方的な条件提示: 大手企業から、ファクタリング利用(実質的な手数料負担)か長期支払い(150日後)かの選択を迫られるという不公平な支払い条件が提示され、中小企業庁や公正取引委員会への相談に至ったことも事例として回答されていました。

フリーランス 個人事業者の回答について

Q.主たる職種について伺います。※複数職種にまたがる場合は、売上構成比の大きいものでお願いいたします。

職種	総数に対する割合
営業・販売関連(営業/販売/接客等)	5.13%
事務・ビジネス関連(コンサルタント/士業/広報/リサーチ/人事・経理・財務等スペシャリスト含む)	76.92%
文化・芸能・芸術関連(デザイナー/ライター/カメラマン/芸能/公演/映像制作等)	5.13%
体・健康関連(医療/薬事/介護/トレーナー/マッサージ等)	5.13%
生活・学習関連(シッター/保育/教育/習い事講師/家事/料理等)	2.56%
製造・運送関連(製造/工作/建築/建設/運送等)	5.13%
総計	100.00%

年代	総数に対する割合
30代	7.69%
40代	25.64%
50代	43.59%
60代	17.95%
70代	5.13%
総計	100.00%

Q. 独立してからどのぐらいの年数ですか。

	総数に対する割合
02)1年以上～5年未満	38.46%
03)5年以上～10年未満	23.08%
04)10年以上～15年未満	28.21%
05)15年以上～20年未満	5.13%
06)20年以上	5.13%
総計	100.00%

Q. 事業方針、利益追求、ワークライフバランスの観点から、どのような事業を目指していますか。ご自身のタイプに一番近いものを選択ください。

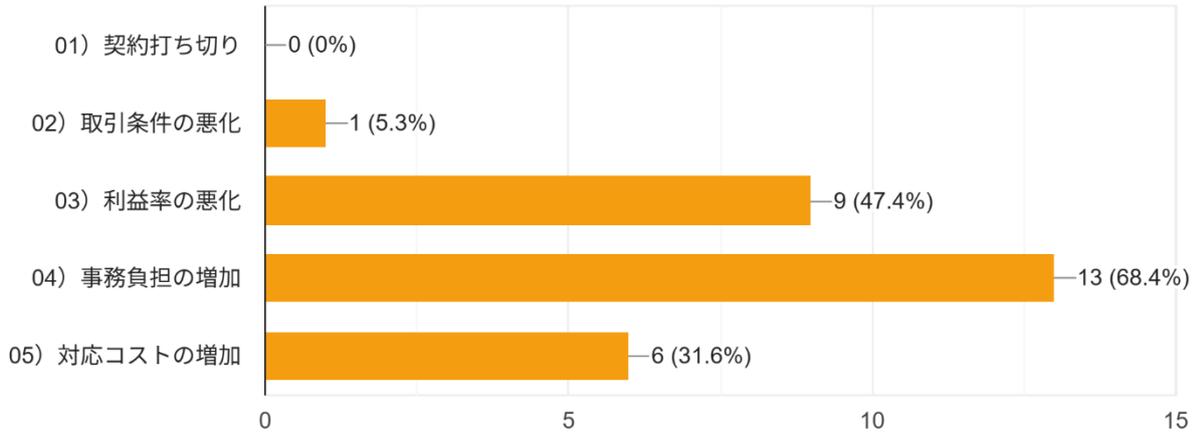
	総数に対する割合
01)事業と雇用を拡大して、利益追求を目指していきたい	17.95%
02)能力・スキルを活かして、独自サービスを提供できたらよい	64.10%
03)無理のない働き方で、セカンドキャリアにできたらよい	7.69%
04)特技や趣味を活かして、収益化できたらよい	2.56%
05)社会貢献を目的に、利益は事業継続できればよい	7.69%
(空白)	0.00%
総計	100.00%

Q.インボイス制度について伺います。インボイス発行事業者の登録状況はいかがですか。

	総数に対する割合
01) インボイス発行事業者である	86.84%
02) インボイス発行事業者ではない	13.16%
総計	100.00%

Q. インボイス発行事業者の方に伺います。インボイス制度開始後にどのような影響がありましたか。当てはまるもの全てに回答ください。[複数選択]

19件の回答



付加価値増大に向けた施策について

自由記入回答での回答では、全体として、生成 AI や RPA などテクノロジーを活用した効率化、顧客獲得のための SNS 活用や紹介パートナーの開拓、顧客との丁寧な関係構築、オンラインサロンや高単価メニューの開発、スキルの高い専門家との協働などが挙げられていました。

Q. より稼げる事業を目指して、新たな商品・サービス・事業等へのチャレンジはされていますか。

39件の回答



付録

主たる業種	Q.生産性を上げる取り組みで効果があったものがあれば教えてください。
04)建設業	労働者確保のため、個人事業主を専属で契約することにより、人件費コスト削減、稼働効率アップに繋げている。
04)建設業	人材教育及び原価管理の推進
04)建設業	失敗や振り返りの公開を行い、社員に徹底する
04)建設業	仕事の取捨選択
04)建設業	位置情報を全社員共有
04)建設業	DXの導入
04)建設業	DX、社内分業化の推進、管理ソフトによる原価管理、指針書の社員作成と内容理解度の深耕。
05)製造業	包装ラインの自動化
05)製造業	定期的な改善案の共有
05)製造業	設備投資、加工機械をより高性能なものに更新
05)製造業	設備投資
05)製造業	生産性の分析 業務の標準化
05)製造業	生産工程の不具合解消、工程の自動化など
05)製造業	生産管理、チームワーク、多能工化、技術向上
05)製造業	取り組み 始まったばかりで まだ効果は不明
05)製造業	車内の見える化
05)製造業	社内の見える化
05)製造業	仕様やサービスの平準化
05)製造業	残業抑制のための昼休み交代稼働、ラインの多台持ち
05)製造業	今のところない。
05)製造業	工程改善(トヨタ方式)
05)製造業	固定費削減
05)製造業	現場の環境改善と業務連携の見直し
05)製造業	原価計算
05)製造業	技術革新
05)製造業	まだ効果はわかりませんが、これからシステムを取り入れる予定です。
05)製造業	なし
05)製造業	アウトソーシング
05)製造業	website
05)製造業	RPA
05)製造業	DX 導入
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	部署を横断した業務の共有により、部署ごとの業務量の偏りの解消につながった。
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	請求書 DX

07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	製品の標準化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	生成 AI の積極使用など
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	生成 AI の活用
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	人時生産性売上高・粗利高を社員皆がわかるようにしている
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	人事戦略の見直し
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	社内フロー改善
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	社内システムの強化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	社員一人一人の累積残業時間の見える化により、残業状況を日々把握し無駄を排除。
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	作業改善の見直しと DX 化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	最新機材の更新
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	業務振り返り会議の定期実施
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	業務改善を各本部単位で徹底し、進捗状況を確認しています。
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	業務の分業、DX
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	教育
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	議事録作成を ai
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	開発設備機器・ソフトの購入し生産性を上げつつある
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	マニュアル化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	システム開発
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	コスト意識の強化、生成 AI 活用
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	ISO9001 推進、社員教育
08)運輸業・郵便業(倉庫等)	システム化、5S
09)卸売業・小売業	組織変更、利用システムの見直し、新規集客を WEB に重点

09)卸売業・小売業	一部業務の AI を使ったシステム化により労働時間の短縮をする準備中。(それなりの効果があると思われる)
09)卸売業・小売業	まだわからない
09)卸売業・小売業	テレワーク・時差勤務・時間単位有給など、働く場所にこだわらなくなってから効率が上がっている
09)卸売業・小売業	デジタル化(RPA、DB、グループウェアなど)
09)卸売業・小売業	システムの見直し
09)卸売業・小売業	ITツールの活用
09)卸売業・小売業	AI 活用で業務効率化、発信力強化
09)卸売業・小売業	AI 活用
10)金融業・保険業	単価の向上
10)金融業・保険業	デジタル化。不必要な紙の使用は厳に禁止している。手帳への書き込みではなく google カレンダー使用の徹底。ラインワークスの使用などなどでアナログ的手法の禁止。
10)金融業・保険業	DX 推進
11)不動産業・物品賃貸業	外注の拡大
11)不動産業・物品賃貸業	外注と AI
11)不動産業・物品賃貸業	いくつかの管理システムを導入
11)不動産業・物品賃貸業	dx 化
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	部分的ではあるが、DX 化、在宅勤務
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	生成 AI
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	社員教育、マネジメントシステムの導入
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	社員の目標設定
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	時間当たり粗利を主要指標に据えている
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	仕事のタスク化による効率向上
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	工数と工程の不一致を図るためのプロセスマッピングの制作

12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	業務効率を上げる努力をしている
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	業務マニュアルの策定や標準化
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	業務の標準化、自動化など
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	教育不十分につき、効果はまだ出ていない
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	共通化 簡素化
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	会計ソフトの変更
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	リモートワークを自由に選べるようにしている
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	ビジネスモデルや業務の見直し、業務委託や chatGTP などの活用
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	デジタル化・DX 推進
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	システムの活用
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	オンライン化
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	オフィスの開設
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	RPA,AI の活用
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	DX 化、クラウドを活用したテレワーク、フリーアドレス

12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	DX
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	AI等のIT導入による業務の効率化
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	AIの活用
12)学術研究・専門・技術サービス業(土業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	AIツールの導入
16)医療・福祉	特になし
16)医療・福祉	数値目標、実績の公表
16)医療・福祉	フレックス制度とキャリアパス制度により時間管理を評価対象とした。
16)医療・福祉	パートから正社員化する事で稼働率を上げる
16)医療・福祉	RPAの導入と展開
16)医療・福祉	RPA
16)医療・福祉	DX化
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	夜間の拠点を1ヶ所にした
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	独自性の強い商品の開発
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	生成AIの活用など、資料の作成がかなり効率化できている
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	生産性を表す、指標数値の共有
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	社内業務のシステム化・自動化、ビジネス用チャットアプリ(slack)導入
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	開始時間を遅らせて、複数現場に対応するか

業種について伺います。	Q.生産性を上げる取り組みで効果があったものがあれば教えてください。
04)建設業	労働者確保のため、個人事業主を専属で契約することにより、人件費コスト削減、稼働効率アップに繋げている。
04)建設業	人材教育及び原価管理の推進
04)建設業	失敗や振り返りの公開を行い、社員に徹底する
04)建設業	仕事の取捨選択
04)建設業	位置情報を全社員共有
04)建設業	DXの導入
04)建設業	DX、社内分業化の推進、管理ソフトによる原価管理、指針書の社員作成と内容理解度の深耕。
05)製造業	包装ラインの自動化
05)製造業	定期的な改善案の共有
05)製造業	設備投資、加工機械をより高性能なものに更新
05)製造業	設備投資
05)製造業	生産性の分析 業務の標準化
05)製造業	生産工程の不具合解消、工程の自動化など
05)製造業	生産管理、チームワーク、多能工化、技術向上
05)製造業	取り組み 始まったばかりで まだ効果は不明
05)製造業	車内の見える化
05)製造業	社内の見える化
05)製造業	仕様やサービスの平準化
05)製造業	残業抑制のための昼休み交代稼働、ラインの多台持ち
05)製造業	今のところない。
05)製造業	工程改善(トヨタ方式)
05)製造業	固定費削減
05)製造業	現場の環境改善と業務連携の見直し
05)製造業	原価計算
05)製造業	技術革新
05)製造業	まだ効果はわかりませんが、これからシステムを取り入れる予定です。
05)製造業	なし
05)製造業	アウトソーシング
05)製造業	website
05)製造業	RPA
05)製造業	DX 導入
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	部署を横断した業務の共有により、部署ごとの業務量の偏りの解消につながった。
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	請求書 DX

07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	製品の標準化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	生成 AI の積極使用など
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	生成 AI の活用
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	人時生産性売上高・粗利高を社員皆がわかるようにしている
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	人事戦略の見直し
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	社内フロー改善
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	社内システムの強化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	社員一人一人の累積残業時間の見える化により、残業状況を日々把握し無駄を排除。
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	作業改善の見直しと DX 化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	最新機材の更新
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	業務振り返り会議の定期実施
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	業務改善を各本部単位で徹底し、進捗状況を確認しています。
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	業務の分業、DX
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	教育

07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	議事録作成を ai
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	開発設備機器・ソフトの購入し生産性を上げつつある
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	マニュアル化
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	システム開発
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	コスト意識の強化、生成 AI 活用
07)情報通信業(放送/映像/音声/文字情報制作/新聞/出版/広告等)	ISO9001 推進、社員教育
08)運輸業・郵便業(倉庫等)	システム化、5S
09)卸売業・小売業	組織変更、利用システムの見直し、新規集客を WEB に重点
09)卸売業・小売業	一部業務の AI を使ったシステム化により労働時間の短縮をする準備中。(それなりの効果があると思われる)
09)卸売業・小売業	まだわからない
09)卸売業・小売業	テレワーク・時差勤務・時間単位有給など、働く場所にこだわらなくなってから効率が上がっている
09)卸売業・小売業	デジタル化(RPA、DB、グループウェアなど)
09)卸売業・小売業	システムの見直し
09)卸売業・小売業	ITツールの活用
09)卸売業・小売業	AI 活用で業務効率化、発信力強化
09)卸売業・小売業	AI 活用
10)金融業・保険業	単価の向上
10)金融業・保険業	デジタル化。不必要な紙の使用は厳に禁止している。手帳への書き込みではなく google カレンダー使用の徹底。ラインワークスの使用などなどでアナログ的手法の禁止。
10)金融業・保険業	DX 推進
11)不動産業・物品賃貸業	外注の拡大
11)不動産業・物品賃貸業	外注と AI
11)不動産業・物品賃貸業	いくつかの管理システムを導入
11)不動産業・物品賃貸業	dx 化
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	部分的ではあるが、DX 化、在宅勤務

12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	生成 AI
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	社員教育、マネジメントシステムの導入
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	社員の目標設定
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	時間当たり粗利を主要指標に据えている
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	仕事のタスク化による効率向上
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	工数と工程の不一致を図るためのプロセスマッピングの制作
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	業務効率を上げる努力をしている
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	業務マニュアルの策定や標準化
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	業務の標準化、自動化など
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	教育不十分につき、効果はまだ出ていない
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	共通化 簡素化
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	会計ソフトの変更
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	リモートワークを自由に選べるようにしている
12)学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	ビジネスモデルや業務の見直し、業務委託や chatGTP などの活用

12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	デジタル化・DX 推進
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	システムの活用
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	オンライン化
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	オフィスの開設
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	RPA, AI の活用
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	DX 化、クラウドを活用したテレワーク、フリーアドレス
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	DX
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	AI 等の IT 導入による業務の効率化
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	AI の活用
12) 学術研究・専門・技術サービス業(士業/デザイン/コンサル/翻訳/フォトグラファー等)	AI ツールの導入
16) 医療・福祉	特になし
16) 医療・福祉	数値目標、実績の公表
16) 医療・福祉	フレックス制度とキャリアパス制度により時間管理を評価対象とした。
16) 医療・福祉	パートから正社員化する事で稼働率を上げる
16) 医療・福祉	RPA の導入と展開
16) 医療・福祉	RPA
16) 医療・福祉	DX 化
18) サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	夜間の拠点を 1ヶ所にした
18) サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	独自性の強い商品の開発

18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	生成 AI の活用など、資料の作成がかなり効率化できている
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	生産性を表す、指標数値の共有
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	社内業務のシステム化・自動化、ビジネス用チャットアプリ(slack)導入
18)サービス業(廃棄物処理/整備/修理/派遣紹介/警備等)	開始時間を遅らせて、複数現場に対応するか